

# 第4章 まちづくり上の課題整理

## ■横須賀の歴史・文化の再認識と継承

### 課題:横須賀の歴史や文化を尊重し、これを生かしたまちづくり

地域住民の生活の質的な豊かさを高めるとともに、地域に対する愛着や誇りを育み、まちづくりの担い手を育てるために、守り、育むべきまちのアイデンティティ<sup>※</sup>や個性とは何か、地域住民が共有できる、誇るべき歴史、文化の概念を明確にした上で、地域住民とともにこれを生かしたまちづくりを進めることが必要です。

### 課題:伝統的な建造物や町家の再生やこれらと調和したまち並みの誘導

以上のような歴史や文化を生かしたまちづくりを地域住民や来訪者の目に見える形で展開するためには、伝統的な黒鎧下見と切妻瓦屋根の木造住宅、格子や瓦屋根を持つ町家のまち並みに、地域に暮らす人たちが価値を見出し、保全・再生を図るとともに、これらと調和したまち並みづくりを進めることが必要です。

## ■かつてのまちのにぎわいやコミュニティの再生

### 課題:まちのにぎわいを取り戻すための、集いや出会いの創出

かつてのようなまちのにぎわいを創出する（まちの活性化を図る）ためには、商業・商店街の活性化にとどまらず、地域住民や外部からの来訪者がまちなかで出会い、集うことができ、新しい交流やふれあいが生まれるまちを創出することが必要です。そのようななかで、集いや出会い、交流やふれあいの場ができると、やる気のある人がそこで何かを始めたいという動機づけになり、新しいにぎわいを生み出す種となることも期待できます。

### 課題:住民同士のふれあいや、日常的な近所づきあいの活性化

新たな住民の増加、高齢化の進行が顕著な本地区において、いつまでも暮らしやすい環境を維持していくためには、また横須賀まつりをはじめ地域固有の歴史、文化を継承するためには、地域住民のコミュニティを維持・活性化することが必要です。コミュニティ力の向上は、狭小な路地や木造住宅の密集した地区では、地域の防災、防犯にも大きく寄与することが期待できます。

※アイデンティティ: 自我同一性（「本人」あるいは「そのもの」であることの自他による確認）、他との識別と好ましいイメージ形成を可能にする個性（づくり）。存在理由や存在意義と訳されることもある。

## ■まちの安全性、防災性の向上

### 課題:安全で安心でき、現代の生活にも合った快適な都市の基盤づくり

かつて自動車利用を前提としない時代に形成された町割りの上に、多くの人が多目的に集まるさまざまな施設が点在する本地区では、歩車の混在が交通安全上の大きな問題となっています。こうした問題を改善し、高齢者をはじめだれもが安全で安心して移動できる環境を整えるためには、歩行者・自転車が中心の歩いて暮らすことができるまちづくりを展開することが必要です。同時に多くの利用者がある尾張横須賀駅周辺では自動車を含めた交通結節機能の充実を図るなど、自動車利用が主体の現代生活にも合った都市基盤づくりを進めることが必要です。

### 課題:密集住宅地の防災性の向上

江戸時代の漁村集落が起こりの本地区では、不要な人や交通が進入しにくいといった利点を有する一方で、防災上の脆弱さが懸念されることから、まち割や路地、コミュニティを形成する限界性を生かしながら、安全なまちの基盤を形成していくことが必要です。